

沖縄の防災対応力を 向上させる 取組について

～沖縄総合事務局の防災関係会議～



第12回沖縄防災連絡会

沖縄総合事務局では防災に関する様々な取組を実施しています。その中でも、令和6年2月14日に開催された「沖縄防災連絡会」、3月8日に開催された「沖縄の持続的な発展を支える防災対応推進会議」について紹介します。

1. 沖縄防災連絡会

「沖縄防災連絡会」は沖縄地域における大規模地震・津波災害への対応力の向上や、関係機関の連携の推進を目的としており、官民合わせて35機関で構成されている会議体です。会議では、道路・港湾・空港・電力・石油・ガス・水道などのインフラ関係及び物流、観光客避難の防災に関する12の分野において検討・議論を行っています。



会議を進行する安里議長

沖縄防災連絡会は平成24年度に設立され、令和6年2月14日の会議で12回目の開催となりました。今回の会議では従来の地震・津波対策についての検討のほかに、令和5年台風第6号被害を受けての停電対策の検討や、令和6年能登半島地震における各機関の対応状況に関する共有などをを行いました。

2. 沖縄の持続的な発展を支える防災対応推進会議

「沖縄の持続的な発展を支える防災対応推進会議（以下、防災対応推進会議）」は各分野の有識者である13名の委員で構成され、沖縄防災連絡会での検討内容や取組について様々な角度から助言等をいただいています。令和6年3月8日に開催された防

災対応推進会議では、沖縄防災連絡会等からの報告を受け、停電対策としての無電柱化や被災した離島への物資輸送に関する助言など、活発な議論が行われました。

3. 今後の防災関係会議での取組について

防災対応推進会議で指摘・助言があつた事項については、今後取り組むべき課題として沖縄防災連絡会中で検討を進めるとともに、沖縄地域の防災対応力の向上・強化のために関係機関と連携を図りながら、引き続き各種対策・検討を行っていきます。



担当者から報告を受ける委員

お問い合わせ先
総務部 防災・危機管理課
098-866-0115